「標準的なバス情報フォーマット」のすすめ

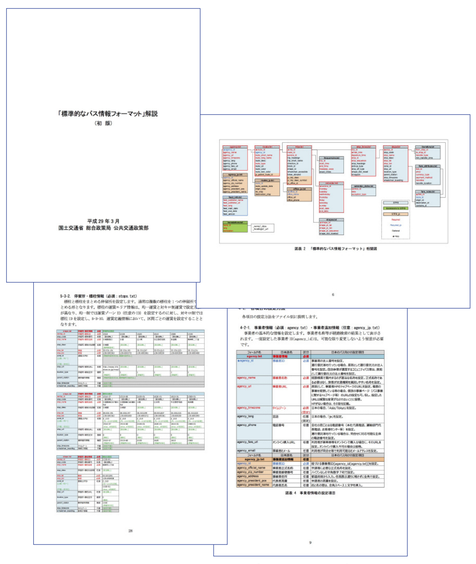
～バス時刻表をデータ化して利用促進につなげよう～

標準的なバス情報フォーマット広め隊

連絡先：伊藤昌毅（東京大学 生産技術研究所） mito@iis.u-tokyo.ac.jp

2017 年 3 月に、国土交通省総合政策局公共交通政策部より「標準的なバス情報フォーマット」が公開されました。これをきっかけに、路線バスの時刻表データを整備して、乗換案内などに広く使ってもらおうという気運が高まっています。自主的にフォーマットに関する情報発信やツール開発を行うエンジニアも増えています。是非あなたも「標準的なバス情報フォーマット広め隊」の一員として路線バスのデータ整備を推進しませんか。

※ 路線図、時刻表、運賃表などを所定の書式で格納した ZIP ファイル
国際標準である GTFS 形式と互換性のあるフォーマットです



フォーマット解説書は
国交省 Web で公開中

乗換案内で検索可能に

Google Maps や Yahoo!、NAVITIME やジョルダンなどの乗換案内サービスにデータを渡せば、今はまだ検索出来ない中小・コミュニティバスのインターネットやスマホアプリでの検索が実現します。

サイネージや印刷物にも

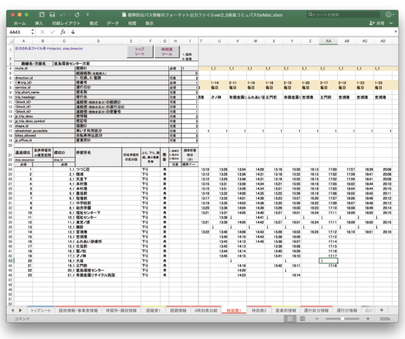
同じデータをデジタルサイネージへの情報提供のためにも利用出来るようになります。また紙の時刻表や住んでいる場所に合わせたマイ時刻表を自動作成するシステムなども実現出来ます。

バス事業の効率化にも

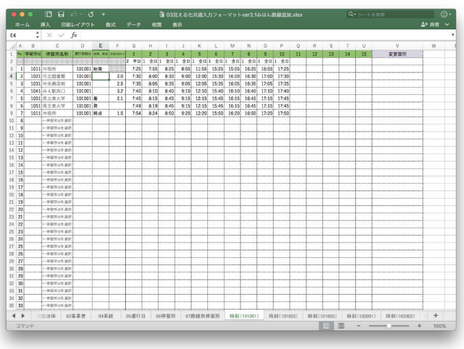
網羅的な基礎データをひとつ整備することで、そこからバス停に貼り出す時刻表を自動作成するなど様々な応用が可能になります。バスロケを導入するときも、この基礎データが役に立ちます。

データは誰がどう作るの？

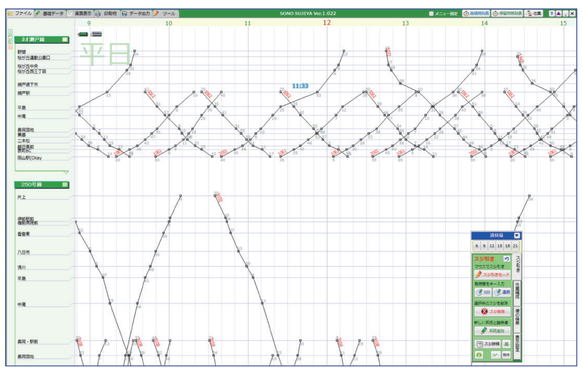
データを出力できる様々なツールが有志によって開発されています。マクロを備えた Excel シートや、高性能なダイヤ編成支援システム「その筋屋」などが無料で配布されています。これらを用いて、交通事業者自身がデータ整備を進めることを期待しています。



東大 CSIS で開発された
Excel ツール



三重県で用いられている
データ収集用フォーマット



ダイヤ編成支援システム
「その筋屋」

取り組みは全国に拡がっています

2017 年の取り組みの例

くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2017 展示ポスター　初版：2017年10月29日
2版：2017年11月14日